

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年7月31日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年7月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機残留熱除去海水系(B)系の出口ストレーナ差圧計出口側元弁の破損について】 当社運転員が、6号機残留熱除去海水系(B)系の出口ストレーナ差圧計出口側元弁の弁棒接続部が破損しており、弁操作ができないことを確認。 当該弁について接続部の応急修理を行い、弁操作は可能となったため、系統に影響なし。 今後、当該弁を交換予定。</p>	G III	7月25日
2	<p>【ろ過水純水設備建屋における火災報知器の発報について】 協力企業作業員が、ろ過水純水設備建屋において、火災報知器の発報を確認。 現場調査の結果、排水用ブロワ(※)の駆動用ベルトが切れており、周囲に黒い粉体を確認。 駆動用ベルトが何らかの原因で過度に摩耗、過熱し、煙検知器が動作したものと推定。 なお、消防により「非火災」と判断。 今後、当該ブロワの分解点検を行い、原因を調査。</p> <p>※排水用ブロワ:ろ過水製造で発生した、排水を処理するため使用するろ過器の逆洗浄等に使用される</p>	G III	7月26日
3	<p>【環境管理業務委託における体調不良者の発生について】 協力企業作業員が、環境管理業務委託のサンプリング作業中、体調不良となり救急医療室を受診。 救急医療室において、脱水症と診断。 処置を受け本人の体調回復を確認後、救急医療室を退出。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	7月25日